

2024/7/31



農とみどり通信

7月号



発行：NPO法人せたがや喜多見 農とみどり

最近の出来事 1/3

学生ボランティア募集

農筋しませんか？ テヅクリ畠の会

働く世代を中心とする都市農業の会です。農業やつくりを通じて地域連携の仲間を探したり、学生ボランティアを募集します！お試し参加も大歓迎！お気軽に体験にいらしてください！

活動時間 農作業：主に毎土曜午前
野菜販売：日曜午前（月1回）
活動場所 猪江市小瀬農園、
世田谷区成城三丁目空地
野菜販売：慶元寺駐車場

※装備：草手、手ぬぐい
※問い合わせは…事務局 磯田：070-4075-6458

○若い世代にも畠に参加してほしい、農筋つかいましょう

農の継続のため、また平日のすき間時間に活動できるメンバーを増やすために、若者とくに大学生のメンバーを増やしたい—東京農大の産学官・地域連携センターに相談して、本年4月より、学内情報サイトに仲間募集のお知らせおよびチラシを掲示させて頂いています。特にスポーツもしていないし気づければ部屋でスマホをいじってばかり…そんなモッタイナイ若者に、外に出て土に触れ、心地よく体を動かしませんか？そんな思いを込めて“農筋”（テキトーな造語）を呼びかけています。砧南中学校のPTAにバザーで掲示をして頂き、また農大構内で関屋さんがプリンを販売する日にチラシを配布しています。

コミュニティ活動は「興味はあるが、どう入っていいかわからない」のが最初のハードル。「お試しでよいので来てみて」と皆さんからも口コミで呼びかけたり、本チラシをSNSにアップして下されば嬉しいです。（磯田久美子）

○大平農園の映画上映会＆見学会（6月11日）

2024年6月11日、大平農園映画上映会＆見学会を開催しました。午前の映画上映会では、映画「大平農園405年目つなぐ」を上映、意見交換をおこないました。「有機農業はとても手間のかかることなど驚いた」「（自分に）何ができるか…と考えるきっかけになった」などのご意見がありました。午後の見学会では、現在大平農園の運営をされている矢野さんに、農園の中を案内していただきました。参加者からは、「暑い中でも、ボランティアの方と矢野さんが生き生きとされていたのが印象的でした」「区民農園として開放希望」などのご感想がありました。

終了後のアンケートでは、参加者から大平農園へ宛てて、「ぜひお手伝いしたいと思いました」「いつかボランティア参加したいです」「何らかの形でぜひ後世にも残ってほしいです！！」などの声がありました。

上映会には9名、午後の農園見学会には7名の方々にご参加いただきました。暑い中ご参加ありがとうございました。

今回の見学会を快諾してくださった、大平農園当主の大平美和子様、見学会にて実際に農園をご案内いただき、参加者からのたくさんの質問にも丁寧に答えてくださいました矢野様、上映会にご協力いただいたコジハウス様へ、心より感謝申し上げます。

映画上映会と見学会を通じて大平農園に触れたことで、参加のみなさまが農家や農地について、それぞれ何かを感じ、考えてくださっている様子が印象的でした。上映会、見学会の全体を通じて、大平農園が続いて欲しいという参加者のみなさまの気持ちを強く感じました。

残念ながら今回参加出来なかった方もいらっしゃることと思いますので、機会がありましたらまた開催したいと思います。（小堤明子）

映画上映会 & 大平農園見学会

詳細・申込は
こちらから↓

**大平農園
405年
つなぐ**

6月11日（火） ※雨天時12日（水）
上映会 10~12時 祖師谷大蔵駅近辺
※申し込みの方に場所詳細をご案内します
見学会 14~16時 大平農園（等々力）
参加費：無料（昼食・途中移動の交通費は各自）
定員：上映会20名、見学会10名
主催：小堤・田島（テヅクリはたけの会）
お問合せ：090-6159-2693（田島）



最近の出来事 2/3



○七夕（たなばた）の笹竹（7月の第1週）

今年も笹竹を、野の花保育園さんと楽しい家（グループホーム）さんにご提供。真夏を前にした季節のイベント、笹竹をご提供いただけるお庭のあるお家がいくつかあります。こうした地域貢献は、笹竹提供先と趣旨をご説明すると、気持ちよくご協力いただけます。会話（コミュニケーション）は地域にとって大切ですね。



○子ども食堂への農家さんのお野菜（7月8月）

ここ数年つづいている農家さんから子供へのご厚意を伝えるお手伝い。砧ごはん村（大海さん主催）の子ども食堂（食配を含む）に、農家さんお野菜を運びます。

農家さんは、皆さん、すぐに趣旨（社会貢献）を理解され気もちよくご用意してくださいますので感心、ヒト本来の心遣い、頭が咲かります。この7月18日は、小澤農園さん石井農園さん萩野農園さんの3軒でした。8月は2回予定。

○ジャガイモ堀り体験（6月3日～）

宮川農園（成城8丁目）の畑でジャガイモを栽培させていただいたので、1株200円（ひとり5株まで）でやってみました、4回開催。

（2400円、3200円、800円、1800円）合計8200円。

好評でした。来年度も企画したいと思います。

○砧南中学校のバザー・地元野菜販売（7月6日）

農家さん（石井良彦さん）の野菜をPTAさんに。

体育館のバザー会場にお届けしました。

コロナ明けて、久々の開催とのことでした。

○お庭果樹ビジネス 商品化がスタート

数年前に始まったこの取り組み。

お庭にせっかく実った果樹が採り手がいないために、放置され腐ってしまう、鳥に喰われてしまう。

そんなもったいない!!から生まれました。

採り手に困っているようなお宅をみつけて、ご説明交渉にそのお宅へ。今年はまず梅から。ビワも少し。

NPOで採り手を集めて収穫を企画、その後の加工するのはプリン屋。いつもはプリンを作っている笑恵館のキッチンで梅ジャムに加工しました。

梅ジャムは提供していただいたお宅（お庭主様）、梅の採り手、に配ったあとはてづくり市場などで販売、NPO農とみどりの収益にも。第2弾はブラックベリー。

これからは柿や柚子など、楽しみです。（関屋利治）



最近の出来事 3/3



○みどりと花一杯協定 プランター 1つ追加

農とみどりは、次太夫堀公園の駐車場の両脇（花壇とプランター）を、担当しています。この春には横断歩道脇のプランターを担当に追加しました。

野菜の花を楽しもうとメンバーの意欲的な発案、それに協力して動く仲間達。珍しいブロッコリーの花は、沢山のヒトの目を楽しませました。

○大きなキュウリを食べる協会 を発足（24.07.15）

活動目的：

- ①大きなキュウリ食の普及
- ②食の文化・可能性の発展
- ③食べられてない野菜、野菜部位 食の研究



★胡瓜の味噌汁

私も初めて作って食べました。何故か、ハマってしまいます！

さっと煮て、ネギを散らして。具は他にもキノコなど、お好きなものを加えてもよいです。胡瓜にくせがないので、さっぱりします。冷汁にしても良いです。

（LINE テヅクリはたけ から）
(鶴見真理子)



○大きなキュウリを食べる協会 販売

きゅうりは、ものすごい勢いで大きくなります。農家さんは大き過ぎキュウリを捨てます。

この点は農家の手伝いで知って実感していました。

でもよく考えると、大きてもきっと食べれます。

この協会は、デカ過ぎキュウリ食の普及を目指します。

てづくり市場では3本だけ集まって、3本まるごと100円で販売しました。

島田さん（てづくり工房でご出店）はそのキュウリで佃煮を作ってくれました。
(田島文一)



○細長アキチの栽培（7月）

ミント類やキュウリ、カボチャが立派に育っています。

そんな中プランターで育てていた大きなトマトが何者かに食われました。

以前イチゴなど食べられていたのでネズミでも居るのかと思っていましたがこの食べっぷりはもう少し大きなハクビシンかタヌキかな？対策を考えないといけませんね(苦笑)

○細長アキチのヒマワリ

LINE テヅクリはたけ から (7/16)



細長アキチの日々

7月の細長アキチは毎年やっている袋栽培で育てたジャガイモの収穫をしました。

これまで毎年お世話している「いっしょにごはん」の子ども達に収穫体験をして貰いたくて、袋栽培のジャガイモを船橋の公園に届けて収穫してもらっていました。

今年は、ジャガイモの袋を置いてある細長アキチを見てみたいと言う子がいたので、細長アキチで収穫しました。

梅雨が空けた7/7暑い中成城学園前北口に12人の子ども達が集合してくれました。

歩いて細長アキチに向かい。

流石に12人の子ども達を遮光ネットを張った細長アキチに全員入らないので、半分は収穫をして半分は向かいの公園で湧水の池で水遊びをしたりジャンボシャボン玉で遊ばせました。

収穫が終わりランチは成城学園前で買ったパンと氷がギッシリ入ったポットに細長アキチのオレンジミントを千切って入れて、午後はティーストレートを入れた簡易ハーブティーで頂いて、大小様々色も様々なジャガイモをみんなで分けて帰りました。みんな楽しかったようでいい笑顔してました(笑)。

ジャガイモを育ててくれた土は秋に向けて土を再生して今度はサツマイモの袋栽培に利用されます。サツマイモはまた子ども達に収穫して貰い、蔓は、笹さんが、きっとキレイなリースにしてくれるでしょう。

8月に入れば秋に向けての苗づくりが始まります。最後の枝豆やロケット、アレッタなど秋に向けて作る予定です。細長アキチの作業を手伝ってくれた方にはお分けします。何か秋の植え付けしたい野菜があれば教えて下さい。お待ちしています。



(記：どんちゃん 2024年7月29日)

てづくり市場を盛り上げる出展

みなさまこんにちは。今月は、市場を盛り上げる出展について書きます。

てづくり市場は、地元や近隣の野菜を地域に住んでいる方々に親しんでいただき、地域のみなさまに喜多見や周辺の農家や農地の存続に関心をもってもらうことを目指しています。

たくさん的人に市場を訪れていただくためには、野菜だけを販売するより、他にも出展があった方がよいことから、野菜販売を盛り上げる位置づけで、市場にはさまざまな出展者がお店を出しています。

この市場は慶元寺の駐車場をお借りして開催しています。この市場を地域のための活動と理解してください、毎回快く駐車場を使わせてくださっています。

そのお気持ちに応えるように、出展者も、市場の主旨に賛同し、共に市場を作り上げる仲間として活動してくださる方が自然と集まっています。

この新聞では次号から、そんな素敵なお出展者のみなさまをご紹介していきます。この市場のもう一つの楽しみである出展ブースを、より楽しんでいただけましたら幸いです。（小堤明子）



江戸氏と喜多見氏・原田玄播

〈世田谷の話資料（グラフ世田谷：世田谷区区長室広報課）を抜翠〉

むかし、長い間、今の東京の殿様は江戸氏でした。

だから、この地を【江戸】と言っていました。あるとき、急に、江戸氏を攻めて来た者が太田道灌の指揮する軍でした。この争いで、江戸氏は喜多見の地に居を構える事になりました。太田道灌は江戸氏の住んでいた所に江戸城を築き、それから130年程たって徳川康家が江戸城を広げて住み日本を治めた。それが、今の皇居です。

※江戸氏は家康の家来になり代々仕えた、名を【喜多見】とした。喜多見氏は関ヶ原の戦いや大阪の戦いで大活躍をし、喜多見重政は真面目によく働くので、次第に重要な役に付き、いつも将軍の側にいる（お側用人）のやくになり、大名にもなりました。古くからいる大名にいじられるようになり、喜多見重政を陥れてやろうと大名たちが相談し始めた、そんな時に親戚の喜多見重治（従弟喜多見繁衛重治）が酒癖の悪い（義弟朝岡縫殿頭直国）朝岡との間に争いがあり、直国が重治に切り付け、重治は傷を負いながらその場を逃げ、重治の家来香取新右衛門が直国を殺害、自分はその場で割腹した。この事件を喜多見若狭守重政が御側用人の地位を利用して巧みに取り計らったが、直国の一子忠七郎とその家人が評定所に申し出て事件が表沙汰になり、若狭守の片手落ちの処置が将軍の怒りをかいお家取壊しとなり、重政は桑名藩松平家に預けられた。事件の張本人、重治は稻葉和泉守にお預けとなり、この結果喜多見藩は消滅、家臣たちは浪人、他領に職を求めたり、土着して帰農した。喜多見にはこの帰農した子孫が多いと云う。

元禄6年（1693）7月23日重政は43歳で生涯を終えた。武蔵の名族江戸氏は始祖江戸重継より20代喜多見重政を経て消滅この間約575年間江戸・喜多見に存在し続けた。太田道灌に江戸を追われる迄の342年間は江戸に、喜多見には233年間君臨し統治した。

今 東京の礎を築いたのはまさに【江戸氏】である。（世田谷区誌研究会）抜翠—皆さんはどう判断されますか？……大名たちは喜多見氏を悪い人と言い、重い刑にして下さいと將軍・徳川綱吉に頼み、綱吉は意見を取り入れて【改易】という刑を言い渡した。この改易は、武士の位を取り、領地や家屋敷も取り上げてしまうものです。重政とその家族は、一夜にして明日からの食べ物、寝るところもなく。その後、喜多見氏がどこへ行ったか、喜多見の慶元寺には【江戸氏の供養塔】があります。

※上記はグラフせたがや・第8号～第11号昭和55年の抜翠

喜多見氏3代の栄光、江戸氏18代勝忠は徳川家御家人と成り姓を喜多見に替へ、喜多見氏の初代勝忠となる。

勝忠は天正18年（1590）26歳で徳川家に仕え同年10月に奥州九戸の検査反対一揆鎮圧に従軍、功績をあげ喜多見村全地5百石を賜った。文禄5年（1592）征韓の役には家康に従い肥前名護屋に出陣・慶長4年（1600）関ヶ原の戦いに参戦し功を挙げている。更に慶長19年（1614）の大坂冬の陣には嫡男主水正正忠、次男半三郎重俊と出陣し親子共に武勲を挙げている。江戸氏の本拠は7代長門の時に木田見に移っていたかも、..

1683年【天和3年】より1689年（元禄2年）まで僅か6年間、【喜多見藩】が存在していた。（禄高一万石以上が藩）

※この事実を知る人は、喜多見の人を除き今やだれもいない。

喜多見氏とは、平安末期から今の皇居紅葉山付近に居館を設けていた江戸氏のことである。

江戸氏は太田道灌に江戸の館を譲り、喜多見に移住し、北条市に住んでいたが、徳川家康が江戸城に入ったため、将軍に名前を譲り、江戸氏から喜多見氏に名を変えたものである。原田家の先祖はこの喜多見氏【江戸氏】の家臣（喜多見11人衆）の一人であるとつたえられてきたが、詳しくは確認をしていなかった。

喜多見歴史年表 p 272には、寛文8年（1668）11月8日の出来事として、重恒の5男重治、江戸屋敷で生まれる。母は原田玄播の娘、とあります。また出典は（北武藏玉川文庫）慶元寺本（北見正信編）p263です。

原田家の先祖である玄播頭は学者風であつたようだ、主君の喜多見若狭守重政が死んだあと、その子供（兄弟）が跡目争いを起こし、遂に刃傷沙汰を起こしてしまう。生き残った者は帰農、飛散した喜多見の家の者は北関東とか北海道方面に逃げて行ったと言う話を聞いたことがあります。

玄播頭はそのお家騒動の処理に当たり、喜多見11人衆

（注室町時代の記録によると、原田・城田・石井・小川・小泉・斎藤・田中・橋本・永見・香取・箕輪）と称していた家臣たちを集めて、その指導者となり、に名主的に幕府の直領地を治める事になった事で、事件が片付き、玄播は亡き主君若狭守の墓、石碑（供養塔）を建てて祀り、自分の墓も主君のそばに作り江戸氏の功績と若狭守喜多見重政への忠実な気持ちを込めた。原田家で建立したようだ。

喜多見で家督を継いだ原田玄播のこどもは、喜多見の氷川神社の神主を務めたとも聞いています。昔の原田家は神主をやっていた先祖だったかもしれない。

又いつの時代だが、ある時多摩川が大洪水になり、原田家の子孫は、御神体を洪水で流失してしまい、その責任を負って神職を辞めて神社社務所裏に住居を構え百姓になったようです。その際神職を今の神主である野沢氏に譲ったと言う事を、子供の頃に祖父や祖母や野沢神主からも聞いたことがある。身内の古老の話だと先祖は白旗（関東の源氏）に組みして、秩父7党に係わりがある一人であるような事を言っていた。

※江戸氏の家臣であった原田玄播ら先祖の墓所のある喜多見の慶元寺は、元々は現在の江戸城の皇居付近に居住の江戸宗家の氏寺です。紅葉山付近にあつた東福寺で天台宗、室町時代1454年に、上杉家の家臣太田道灌に江戸の地を譲り木田見に移住した際に寺院も喜多見に移った。後に徳川家康が江戸にはいり、1576年初代喜多見若狭守勝忠によって、東福寺は浄土宗に改宗し、慶元寺として再建された。

（記：原田欣明 2024年7月）



9月開催のチラシ 変更点について

2024 9/15(日) 夏季休暇
8月休み
雨なら9/22(日)で

やります!
第3日曜日です

6月~9月は
夏時間で

9:00 ~12:00

慶元寺(喜多見4丁目)

雨なら翌週
開催 を前提に

つくり市場

地元で採れたお野菜を販売します

マイバック
ご持参くださいね!!
ゴミ減らす

宇奈根・喜多見・泊江 辺りの仲間

千冰川神社

ゆっくりしていってね
お茶 です

地元野菜を楽しみ、
農家さんに感謝する

いろんな出店 欢迎します

喜多見4

会場 駐車場

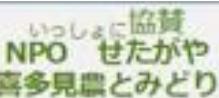
採りたて野菜 の他に
てづくりプリン、小物、リサイクル品、陸前
高田の産物 10分間整体・など
出店数は状況で変わります

お気軽に立ちよください
幼稚園のとなり クルマでも大丈夫

私たち、この地の畑を大切に考え、農の継続を願い、保育園行事や慶元寺での
野菜販売(市民の市場) / 農に係る映画上映会/畠の手伝いなどをしています

「農とみどり」のオフィシャルサイト
スマホからは、QRコードから
簡単にアクセスできます。

主催 NPO 農とみどり
事務局(出竹・田島) : 090-6159-2693



主催 テヅクリはたけの会
事務局(出竹・田島) : 090-6159-2693

「テヅクリはたけの会」で検索してね

お知らせ) 令和6年1月より、NPOせたがや喜多見 農とみどり が
“テヅクリはたけの会”を運営しています。テヅクリはたけの会は、農とみどり
の一部門で継続しています。状況に応じた使い分など、難い点はあります。

農とみどり 予定

8月予定

SUN	MON	TUES	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1	2	3
					須賀神社 御祭り	9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
4	5	6	7	8	9	10
						9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
11	12	13	14	15	16	17
			農業公園 連絡会			9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
18	19	20	21	22	23	24
						9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
25	26	27	28	29	30	31
※8月 てづくり市場は休み					9時半 小澤農園 10時 細長アキチ	
※8/10 座談会 15時～砧総合支所（西村さん主催）						

8月は市場はありません

9月予定

SUN	MON	TUES	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
						9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
8	9	10	11	12	13	14
	15時 野の花 マルシェ					9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
15	16	17	18	19	20	21
9時てづくり市場						9時半 小澤農園
22	23	24	25	26	27	28
9時てづくり市場 予備（未定）						9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
29	30	1	2	3	4	5
						9時半 小澤農園 10時 細長アキチ

次の市場は
9/15です。

「農とみどり」のオフィシャルサイト
スマホからは、QRコードから
簡単にアクセスできます。



<https://www.nou-midori.org/>

せたがや喜多見
農とみどり

～みんなで行動！街の“はたけ”の継続を願って行動～



ご不明な点や、ご意見ご希望はなんなりと、このメールアドレスにお願いします。

Copyright © 2023 せたがや喜多見農とみどり, All rights reserved.

メールアドレス: : info@nou-midori.org

喜多見4-9-7 世田谷区、東京都 157-0057